

第3次佐賀市スポーツ推進計画

令和7年度の主な取組

令和8年3月26日
佐賀市地域振興部 スポーツ振興課

第3次佐賀市スポーツ推進計画概要

■目指す姿：市民は、する・みる・ささえるのさまざまな関わり方でスポーツを楽しんでいる

■成果目標：

- ・日常的に（週1回以上）運動・スポーツをしている市民の割合
- ・「する」・「みる」・「ささえる」のいずれかでスポーツに関わった市民の割合

2023年	2029年目標	2025年実績
54.5%	→ 60.0%	→ 55.3%
－%	→ 85.0%	→ 37.6%

【スポーツ推進の基本方針と施策】

「する」スポーツの推進

- ・市民がスポーツを楽しみ、健康的な生活を送る環境づくりを目指す。
- ・子ども、女性、高齢者、障がい者それぞれにあった「する」スポーツの機会を提供し、地域や企業、他分野・他団体と連携してスポーツ活動を推進する。
- ・競技スポーツの推進にも取り組み、スポーツ実施率の向上を目指すと同時に地域の振興も図る。
- ・効果的な情報発信を通じ、市民が気軽に「する」スポーツに参加できる環境を整える。

「みる」スポーツの推進

- ・魅力的あるスポーツ大会やイベントの開催を通じて、市民が「みる」スポーツを楽しむ機会を増やし、地域の振興を図ることを目指す。
- ・スポーツを観戦しやすい環境づくりに取り組む。
- ・効果的な情報発信により観戦機会を広げ、プロスポーツチームや他分野・他団体との連携を強化することで、交流人口の拡大とまちの賑わいを促進し、地域や経済の振興を図る。

「ささえる」スポーツの推進

- ・地域のスポーツ活動を支える人材の育成と、スポーツ大会等の開催を含めた支援体制の充実を目指す。
- ・スポーツ指導者やスポーツボランティアの発掘・育成、登録推進を行い、資格取得や啓発活動を通じて資質向上を図る。
- ・プロスポーツチームの知識や技術を活用して地域の指導力を高めるとともに、効果的な情報発信を行い、ボランティア活動の重要性を広める。
- ・企業や他分野・他団体との連携を強化し、地域の「ささえる」スポーツ環境の整備を促進する。

「する」スポーツの推進

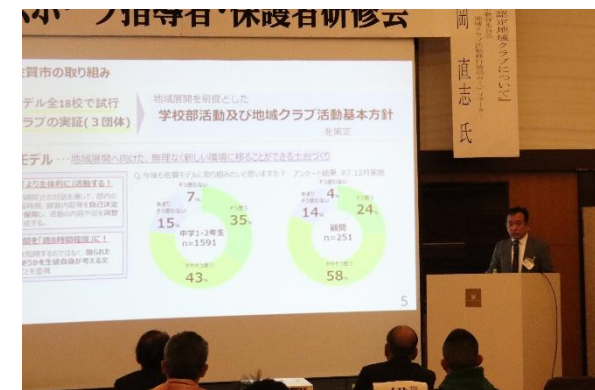
取組の方向性	具体的取組	令和7年度の主な事業
多様な形の「する」スポーツの推進	①子どものスポーツ推進 ②女性や働く世代・子育て世代のスポーツ推進 ③高齢者のスポーツ推進 ④障がい者のスポーツ推進 ⑤地域のスポーツ活動の推進 ⑥全国大会等出場への支援 ⑦競技スポーツの人口拡大 ⑧(公財)佐賀市スポーツ協会との連携	・スポーツ少年団大会、親子SHIPS交流大会(11月2日) ・親子ふれあいスポーツ教室 ・ニュースポーツ体験・出前講座(小中学校、老人クラブ等) ・まなざしスポーツ・レクリエーション祭(10月25日) ・障がい者スポーツ体験会や大会の情報発信 ・スポーツ推進委員協議会定例研修会 ・スポーツ大会出場激励金   
利用者のニーズに対応できるような環境整備	⑨多様な「する」スポーツの環境整備 ⑩安全・安心・快適に利用できる施設の整備 ⑪学校体育施設の有効活用 ⑫指定管理者による管理・運営の充実	・スポーツ施設全般の修繕、改修(老朽化対応、トレーニング機器更新等) ・健康運動センターサッカー・ラグビー場の改修(人工芝及び防球ネット張替、夜間照明LED化) ・市立体育館、市民運動広場の夜間照明設備改修(LED化)に向けた設計業務 ・学校体育施設の備品購入
レガシーの活用	⑬SAGA2024国スポのレガシー活用による地域振興 ⑭SAGA2024全障スポのレガシー活用によるパラスポーツの魅力発信	・富士しゃくなげ湖水上競技場の指定管理者制度に向けた準備・検証(実証実験等) ・全障スポ金メダリストの市長表敬、情報発信 
「する」スポーツの情報発信	⑮「する」スポーツの情報発信の強化	・市報、ホームページでの体験会募集等 ・市内スポーツクラブの周知(HP掲載) 
「する」スポーツによる地域振興	⑯「する」スポーツイベントの開催 ⑰アーバンスポーツを活用したまちの賑わいづくり	・スケートボード体験会(12月～1月) ・各種スポーツ教室、市民スポーツ大会(7月)や校区対抗駅伝大会(1月25日)の実施 ・ランナースナイト(3月21日)、さが桜マラソン(3月22日)の開催 
相乗効果による「する」スポーツの推進	⑱プロスポーツチームと連携した「する」スポーツの推進 ⑲他分野との連携を通した「する」スポーツの推進	・サガン鳥栖・佐賀バルーンズ・SAGA久光スプリングスによるスポーツ教室 ・SAGAアリーナバスケットボール体験会 ・佐賀バルーンズコラボバスケットゴール・ボール贈呈 

「みる」スポーツの推進

取組の方向性	具体的取組	令和7年度の主な事業
「みる」スポーツの機会創出	①スポーツ大会やイベントの開催	・各種スポーツ教室、市民スポーツ大会(7月)や校区対抗駅伝大会(1月25日)の実施 ・ランナースナイト(3月21日)の開催、さが桜マラソン(3月22日) ・夏の全国高等学校野球選手権大会パブリックビューイング   
観戦者のニーズに対応できるような環境整備	②スポーツ観戦しやすい環境の整備	・県民スポーツ大会ライブ配信
「みる」スポーツの情報発信	③「みる」スポーツの情報発信の強化	・HP,SNS等を活用したプロスポーツチームの試合情報、スポーツイベントの情報発信 ・シーズン開幕前「佐賀バルナーズまるわかりガイド」全戸配布  
「みる」スポーツによる地域振興	④スポーツ大会・合宿の積極的誘致 ⑤プロスポーツチームやスポーツ大会・イベントを活用したまちの賑わいづくり	・県が誘致した世界水泳カナダ代表との市民交流(公開練習、記念品贈呈) ・佐賀バルナーズゲームデーでの「街歩き謎解きイベント」のオープニング ・プロスポーツチームの選手・マスコット等による地域イベント等への参加
相乗効果による「みる」スポーツの推進	⑥プロスポーツチームと連携した「みる」スポーツの推進 ⑦他分野との連携を通した「みる」スポーツの推進	・プロスポーツチームホームゲームマッチスポンサー協賛 ・多世代観戦促進等を目的とした企画チケット販売 ・他課と連携したホームゲーム招待 

「ささえる」スポーツの推進

取組の方向性	具体的取組	令和7年度の主な事業
スポーツを「ささえる」 人材の確保	①地域スポーツに携わる人材の育成 ②スポーツボランティアの養成 ③スポーツボランティアの登録推進 ④少年スポーツ指導者の資格取得への支援 ⑤少年スポーツ指導者の資質向上及び保護者への啓発 ⑥プロスポーツに関わる指導者等の持つ知識や技術の活用	・スポーツ推進委員協議会定例研修会の実施 ・指導者研修会の実施 ・指導者資格取得費の補助 ・指導者・保護者向け研修会の実施
「ささえる」スポーツの 情報発信	⑦「ささえる」スポーツの情報発信の強化	・スポーツボランティアへの活動の場の情報提供
「ささえる」スポーツによる 地域振興	⑧大会(パラスポーツを含む)の開催支援	・令和8年度事業化に向けた団体等との連携
相乗効果による 「ささえる」スポーツの推進	⑨プロスポーツチームと連携した「ささえる」スポーツの推進 ⑩他分野との連携を通じた「ささえる」スポーツの推進 ⑪部活動の地域展開の受け皿となるクラブとの連携	・市内スポーツクラブの周知(HP掲載)



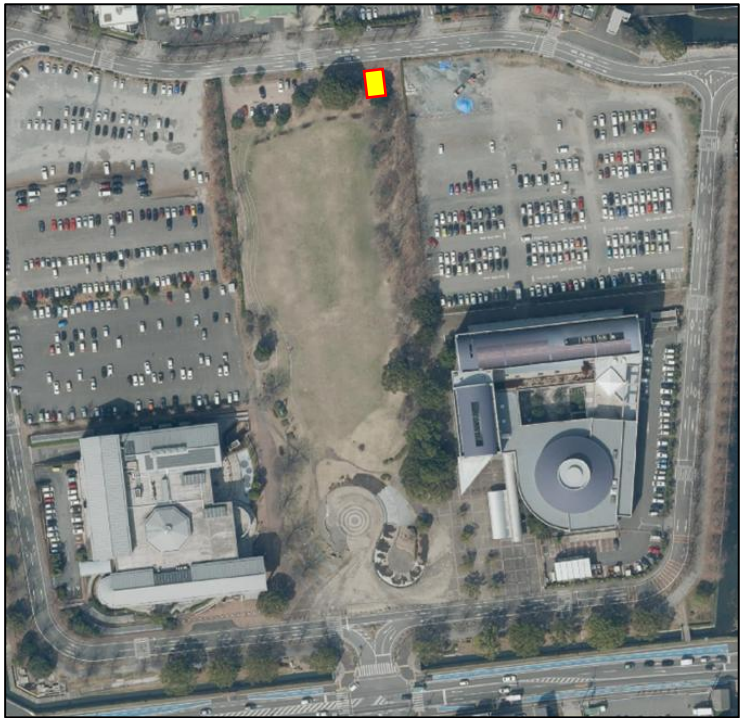
第3次佐賀市スポーツ推進計画

令和8年度の新たな取組

令和8年度の新たな取組

①佐賀バルーンズコラボバスケットコート整備

本市をホームタウンとする佐賀バルーンズを応援する機運を高めるとともに、スポーツを楽しむ市民を増やすため、チームコラボバスケットコートを整備します。



- 整備内容：3×3コート、フェンス設置
- 整備面積：300㎡（20m×15m）
- 整備場所：どんどんの森ふれあい広場内（予定）

【整備イメージ】



目指す姿・期待される効果

- 市民の応援に応じて佐賀バルーンズがBプレミアで活躍し、チームの躍動が市民とまちを元気づける好循環を創出する。
- 市民がバスケットボールをきっかけに「する」「みる」「ささえる」といったさまざまなかわり方でスポーツを楽しんでいる。

【市民】



【佐賀バルーンズ】



スポーツのチカラによる好循環

スポーツ文化の創造・定着

チーム力（戦力・魅力）向上

令和8年度の新たな取組

②スケートボード練習場整備

誰もが安全に安心してスケートボード競技を楽しめるよう、健康運動センター内に練習場を整備します。

期待される効果

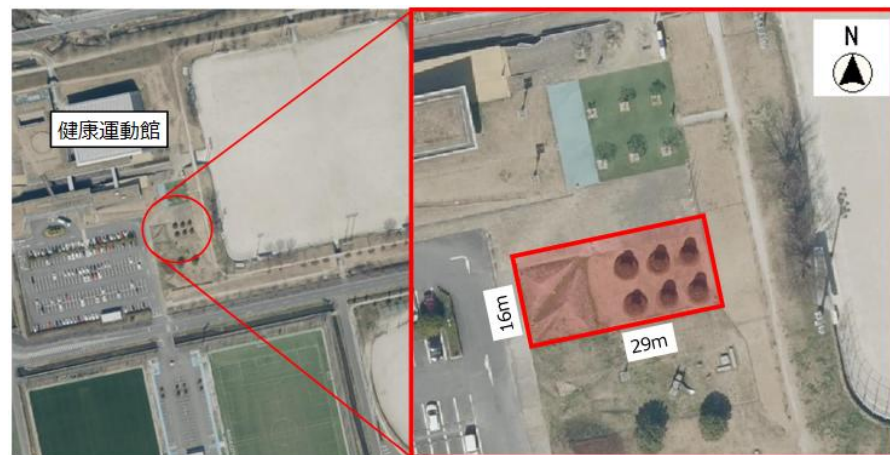
- ・ スケートボード競技者・愛好者が安全に競技を楽しむことができる。
- ・ 禁止区域における迷惑行為が減少する。

整備内容

- ・ 整備場所：健康運動センター内
- ・ 整備面積：464㎡（16m×29m）
- ・ 整備内容：コンクリート舗装、防護フェンス等
- ※ セクション（障害物）を設置予定



▲令和5・6年度に行った体験会
小学生以下の子どもたちが大半をしめました



③パラスポーツ普及事業

誰もがパラスポーツを楽しめる環境づくりに取り組みます。

目指す姿

- ・障がいの有無にかかわらず、誰もがスポーツ活動を楽しんでいる
- ・障がい者がスポーツで自信をもち、社会活動に積極的に参加している



現状の課題

- ・障がい者がスポーツを楽しむ、スポーツに関わる場が少ない（施設、機会）
- ・健常者がパラスポーツを知り、障がい者とともに活動する場が少ない（情報、機会）
- ・スポーツ活動に取り組む障がい者がその成果を発揮し、自信を得る場が限られている（大会）
- ・SAGA2024全障スポ後のパラスポーツの盛り上がり 欠ける（大会、露出）

事業内容（予定）

- ・体験会の実施
競技：ボッチャ・ふうせんバレーボール予定
日程：平日19：00～（年4回程度）
- ・大会の実施 年1回

時期	テーマ	具体的な取組
R8～ R9	パラスポーツ活動の定例化と目標となる大会の設定	【市立スポーツ施設にパラスポーツの時間帯を設定】 目的・スポーツを日常化し、障がいの有無にかかわらず参加できる環境を整備する ・障がいのない方が障がいのある方の障がいの特性を理解する 事業概要 ・体験教室の実施：年4回、金曜19時～（2時間程度） 競技：ボッチャ・ふうせんバレーボール ・大会の開催（年1回）
R10 以降	誰もが参加できるインクルーシブなスポーツ大会の開催を設定	【市民スポーツ大会にパラスポーツを導入】 目的・障がい者がスポーツ活動を通じて、自信につなげる ・スポーツボランティアが参加しやすい環境を支える ・障がいの特性への理解と共生社会の実現をめざす
	障がいのある方の地域社会への参加を推進	【スポーツ活動で培った自信や能力を、地域活動や就労の場で発揮できるよう支援】 目的・スポーツ活動で培った自信を地域社会へ活かす機会につなげる ・就労等への意欲を高め、社会参加への第一歩を踏み出せるよう支える